講演会型（坂祝中学校）

学　校　名	坂祝中学校
実 施 日 時	平成２６年１０月２２日（水）４時限目
会　　場	坂祝中学校　体育館
参 加 人 数	保護者（希望者）　全校生徒　職員　坂祝町長　町教育委員など
学習課題（分野）	坂祝中学校卒業生・若井江利さん講演会
運営者の願い	自分たちの中学校の卒業生が日本の代表として世界大会で頑張り続けていること、さらにメダルを獲得という事実に直接ふれることで、ふるさと坂祝に対する誇りと愛着を高めてほしい。そして、中学生としての今を大切にする気持ちを高めるきっかけにしてほしい。 またそのことを、保護者の方や地域の方ともできるだけ多く共有したいと考え、年間計画にない講演会ではあるが、講師の帰郷に合わせて計画・実施をすることにした。

＜本物の力＞
実物のメダル、日本代表ウエア、大会の映像など、数多くの「本物」を準備していただいたことで、聞く人を惹きつける魅力ある講演となった。

学　習　の　内　容

＜講演＞
・ボート競技の説明
（ＤＶＤなど）
・メダルの紹介（実物）
・ふるさとでの思い出
（坂祝中学校時代
～加茂高校時代）
・大学卒業後、実業団ではなくフリーでの活動を選択した思い
・ふるさと岐阜で行われた清流国体に対する決意と国体の後の心境
・アジア大会、オリンピックに対する思い
・母校の後輩たちに贈る「メッセージ」

＜質疑応答で＞
聞くだけの講演会ではなく、後半は生徒の質問に答えていただく形式だったことで、今の中学生が何に興味をもち、どんな悩みをもっているのかを、参加した保護者や地域の方が実感できるよい機会となった。

＜質問タイム＞
「緊張したときは、どのように気持ちを切りかえて競技に集中しているのですか。」
「１人乗りの個人種目と４人乗りの団体種目とで、変えていることはありますか。」
「練習がつらい時や嫌になった時は、どのように気分転換をしていますか。」
「大きな大会が終わった時に、どうやって次の目標を設定しているのですか。」
・・・など、メダリストの考え方を学べる貴重な機会を活かそうと、切れ目なく積極的に質問する中学生たちの姿に驚かされました。

また、どの質問にもじっくりと考え、時間をかけて丁寧に答えていた若井さんの姿から、生徒たちは一流のアスリートの誠実さやひたむきさを実感することができました。

＜閉会＞

＜給食・撮影＞
講演会の後、思い出の教室に入り、生徒たちと一緒に給食を食べながら語り合い、母校での楽しい時間を過ごしていました。

＜食事をともにしながら＞
一部の生徒とだけですが、机を向い合せて同じ給食を食べることで、講演会では聞けない話で盛り上がり、講師の方をより身近な存在に感じることができた。